

開催校企画 パネルディスカッション

Conference Committee Presents: Panel Discussion (in Japanese)

テーマ「EV 普及推進を考える」

場 所: 関西大学 千里山キャンパス 第1学舎1号館 千里ホール

日 時: 2024年9月14日(土) 16時~17時30分

<概要>

EV 推進の道は容易ではない。まず、EV の利点が活かされるためには、脱炭素・再エネ社会の実現が前提となる。また、EV バッテリーは希少資源を必要とするため、EV は一般に高価であり、普及には購入補助金を必要とする。さらに、EV バッテリーの主要原材料の多くが中国に依存しており、原材料を安く調達できるメリットを活かして中国製 EV はシェアを拡大している。そのため、欧米では、欧州電池規制をはじめとして中国製 EV を市場から排除する動きが見られる中、世界の自動車市場では急速に経済のブロック化が進んでいる。EV 推進が直面するこうした問題に対して、日本はどのように対処すべきか、産官学の有識者の討論を通して考えていきます。

[第1部] イントロ(論点整理)とパネリストによるプレゼンテーション

EV 推進が直面する課題

- ①電力のグリーン化
- ②EV バッテリーの原材料確保と中国依存
- ③保護主義/経済ブロック化のリスク

[第2部] 総合討論

パネリスト

- ・経済産業省 製造産業局自動車課 自動車戦略企画室長 田邊 国治
- ・環境省 環境再生・資源循環局総務課 資源循環ビジネス推進室長 河田 陽平
- ・本田技研工業 コーポレート戦略本部 リソースサーキュレーション企画部長 多賀 渉
- ・本田技研工業 コーポレート戦略本部 エネルギーサービス事業開発部長/エグゼクティブ
チーフエンジニア 木村 英輔
- ・日産自動車 総合研究所エキスパートリーダー 上條 元久
- ・東海大学 政治経済学部経済学科教授・副学長 細田 衛士 (敬称略)

司会 関西大学 経済学部教授 新熊 隆嘉

主催 環境経済・政策学会

後援 吹田市